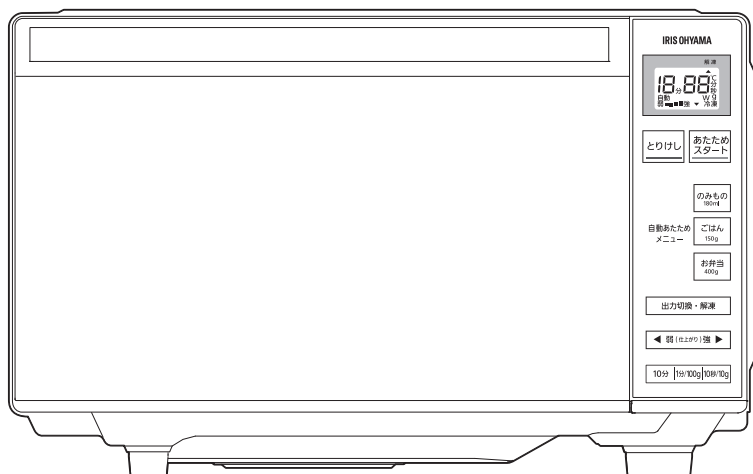


電子レンジ

IMB-FV1801

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
使える容器・使えない容器	6
各部の名称	7

取り扱いかた

準備	9
使いかた 基本	9
使いかた 簡単あたため	10
使いかた 自動あたため	11
使いかた 手動加熱	12
使いかた 解凍	13
お手入れ	14
調理の目安	15

こんなときには

故障かな？と思ったら	17
仕様	18
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



行為を禁止する記号です。



必ず行うことを示す記号です。

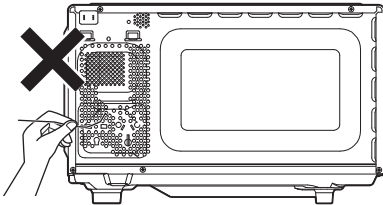


危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれが高い、差し迫った内容を示しています。



- 背面・側面の通風口や庫内の開口部に、
異物を入れない
火災・感電・けがの原因になります
異物が入ったときは、お買い上げの販売店
または修理専用コールにご相談ください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがおよび電波漏れによる人
体への被害の原因になります。修理技術者
以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店また
は修理専用コールにご相談ください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実
に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になりま
す。
- 電源は交流100V、定格15A以上の
コンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電
源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用後1分は冷却のため、電源プ
ラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし
ない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
使わない
ショートによる火災・感電の原因になり
ます。電源コードが破損したときは、修
理専用コールへお問い合わせください。
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してく
ださい。
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを
引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ
張る、ねじる、重いものをのせる、挟み
込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因
になります。



アースを
必ず接続

- **アースを必ず取り付ける**
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種接地工事）が義務付けられています。

- **湿気の多い場所**
土間・コンクリート床・貯蔵室など
湿気の多い台所など
- **水気のある場所**
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



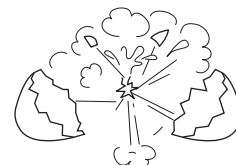
- **水気が多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する**
水気が多いところに設置する場合は、アース工事の他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- **アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
爆発・火災の原因になります。



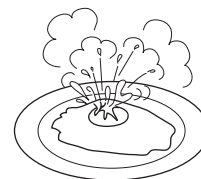
- **卵は必ず割りほぐしてから加熱する**
- **殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる**
- **びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する**
破裂して、けがややけどの原因になります。



- **乳児のミルクやベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後かき混ぜて温度を確認する**
やけどのおそれがあります。



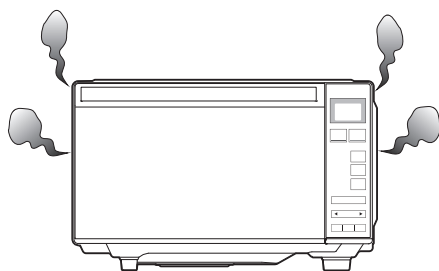
- **缶詰・びん詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品をそのまま加熱しない**
破裂のおそれがあります。必ず別容器に移し替えてから加熱してください。
- **ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない**
爆発して大変危険です。



調理中は



- **調理中はそばを離れない**
食品が発煙・発火することがあるので、注意してください。



- **繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意する**
ラップをする、加熱し過ぎないなど注意して調理してください。

飲み物などの加熱時は



- **加熱し過ぎないように注意する**
- **加熱前・加熱後はスプーンなどでかき混ぜる**
- **広口で背の低い容器に8分目まで入れる**
飲み物や油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。



- **屋外で使用しない**
- **壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない**
- **畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない**
火災の原因になります。



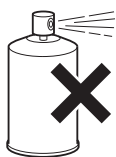
水ぬれ禁止

- **水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない**
- **本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない**
火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中ときどき電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
- 扉に無理な力を加えない
変形して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。



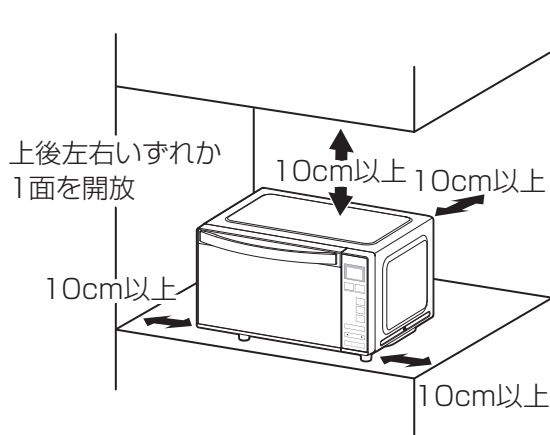
注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

安全に設置する



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。
- 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、過熱・火災の原因になります。風通しが良く、水などのかからないところに設置してください。



- 肩より高い位置に設置しない
食品を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。



- 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
- 扉が損傷したら使用しない
感電や電波漏れによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店または修理専用コールへご依頼ください。
- 扉にものをはさまない
誤動作して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 庫内は常にきれいにする
発火するおそれがあります。また、庫内が損傷すると、電波漏れなど危険な状態になるおそれがあります。

食材が発煙・発火した場合は



● 扉を開けない

食材が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。
また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。



● 衣類の乾燥や、ふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない
火災や異常動作の原因になります。

● 業務など家庭用以外で使用しない

本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。

加熱中・加熱後は



ぬれ手禁止

● 高温になっている部分にさわらない

加熱中・加熱直後は、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。
食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



高温注意

● ラップを外すときは注意する

蒸気でやけどするおそれがあります。

加熱禁止



● 金属容器や金串は使用しない

放電・火花・過熱・やけどの原因になります。

● 鮮度保持剤（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない

火災の原因になります。

● 庫内が空のまま加熱しない

過熱して火災の原因になります。

使用上の注意

● ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

● 無線LAN機器から離してください。
無線LANの通信機能が低下する場合があります。

● 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
扉を開けたまま何も操作をしないでいると、5分で表示部の照明が消灯し、さらに5分で庫内灯が消灯しますが、電源は切れません。（表示部には0が表示されたまま）
扉を閉めて何も操作しないでいると、5分で電源が切れます。

● ボタンを操作するとブザーが鳴ります。調理終了もブザーでお知らせします。

● 調理の途中で扉を開けると、一時停止します。
扉を閉めてあたためスタートボタンを押すと調理を再開します。

● 取り忘れ防止のために、調理終了後扉を開けないと「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴ってお知らせします。（1分ごとに5回くり返します。さらに5分後に電源が切れます。）

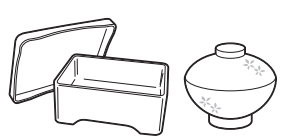
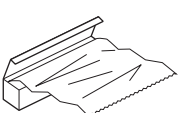
廃棄について

● 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

保護装置について

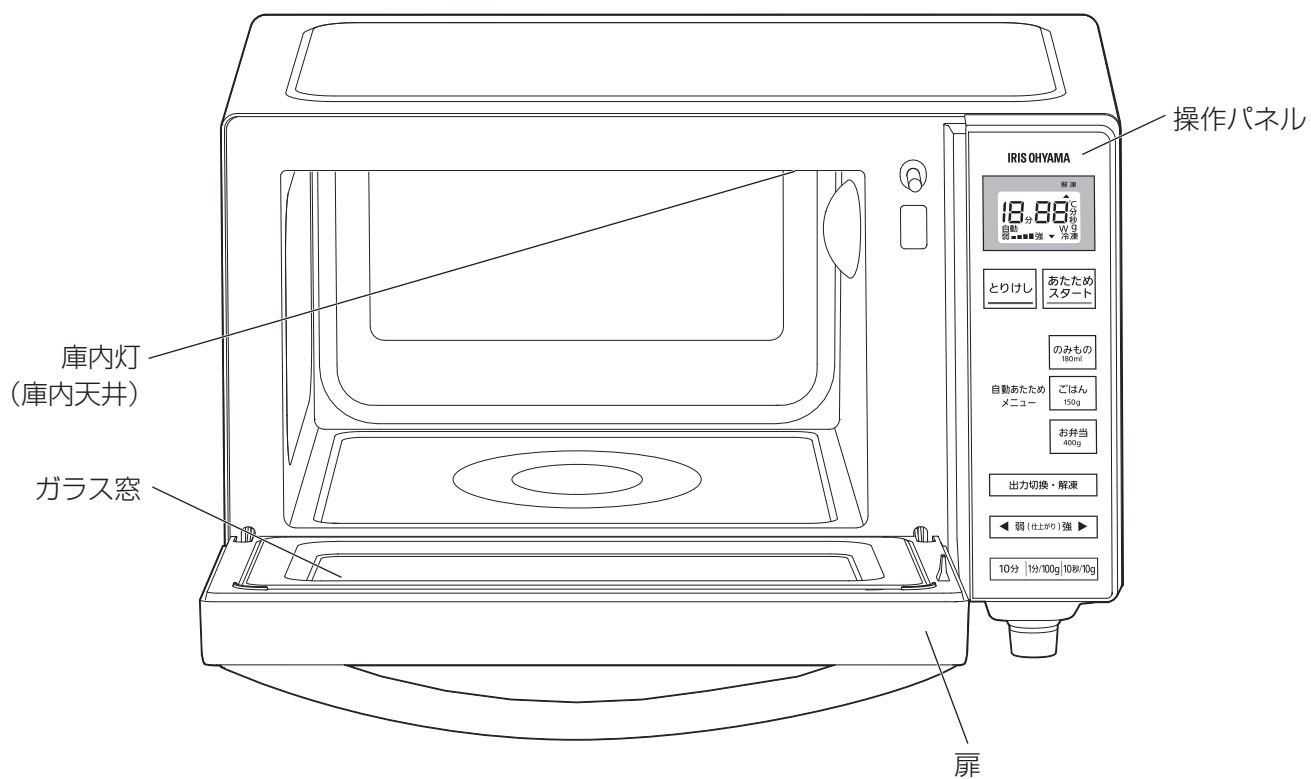
● 連続使用したり、水分の少ない食材を加熱したりすると、過熱による故障を防ぐための保護装置が働いて、運転が自動停止することがあります。
保護装置が働いたときは、30分ほどお待ちください。保護装置が解除され再び使用できるようになります。

使える容器・使えない容器

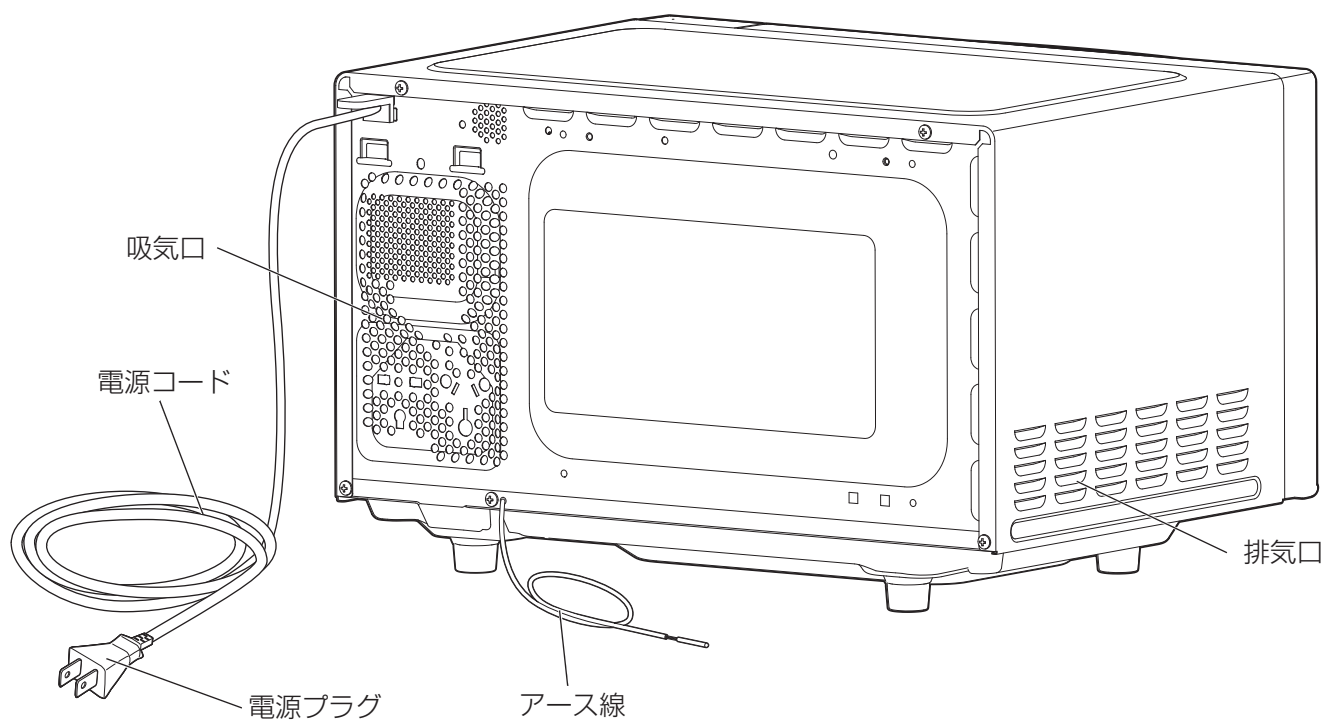
ガラス	耐熱性がある 	○ 使えます ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。
	耐熱性がない 	✕ 使えません ・カットグラス・強化ガラスも使えません。
プラスチック	耐熱性がある (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・ふたは、熱に弱いものがあるので、耐熱温度を確認してください。
	耐熱性がない (耐熱温度：140℃未満) 	✕ 使えません ・熱で変形するものも使えません。(発泡スチロール・ポリスチレン・ポリエチレン・フェノール樹脂・メラミン樹脂・ユリア樹脂など)
陶磁器・漆器	陶器・磁器 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。 ・金銀模様・絵柄・ひび模様のある器は、火花が出たり、傷んだりすることがあるので使えません。
	漆器 	✕ 使えません ・塗りがはげたり、ひび割れしたりすることがあります。
金属	アルミ・ほうろうなどの金属容器 	✕ 使えません ・金串、金網、金箔・銀箔のフィルムやテープ、針金の入ったものも使えません。
その他	紙・木・竹 	✕ 使えません ・加熱し過ぎると燃えることがあります。 ・釘や針金など金属を使用しているものは、火花が出たり発火したりすることがあります。
	ラップ (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるので使えません。
	アルミホイル 	✕ 使えません ・放電・火花・過熱・やけどの原因になります。

各部の名称

■正面



■背面



各部の名称 つづき

■操作パネル

表示部

加熱時間や解凍の重量設定などが表示されます。

とりけしボタン

設定を取り消したり、加熱を途中で止めるときに押します。
長押しすると、ブザーの入／切を切り替えできます。

※ 加熱途中で一時停止したいときは、扉を開けてください。扉を閉めて、あたためスタートボタンを押すと加熱が再開します。

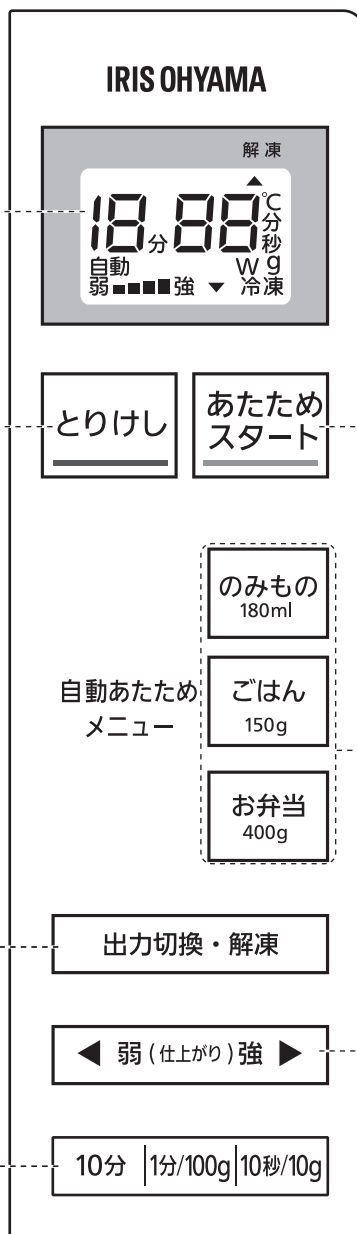
出力切換・解凍ボタン

手動で加熱・解凍するとき、出力を切り換えます。(→P12、13)

時間・重量設定ボタン

手動で加熱するとき、時間を設定します。(→P12)

解凍するとき、重量を設定します。(→P13)



あたためスタートボタン

ボタンを押すと加熱がスタートします。

※ 何も設定しないで押すと500Wで1分間の加熱をスタートします。(→P10)

自動あたためメニューボタン (のみもの、ごはん、お弁当)

自動あたためのメニューを選択します。(→P11)

仕上がり 弱／強ボタン

自動あたためと解凍で仕上がりを調節します。(→P11、14)

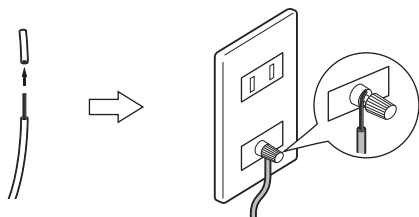
準備

1 4ページの「安全に設置する」にしたがって、設置する

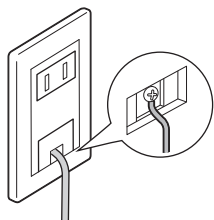
2 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

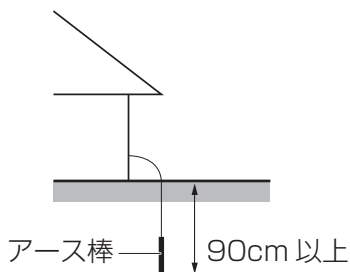


- ・ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

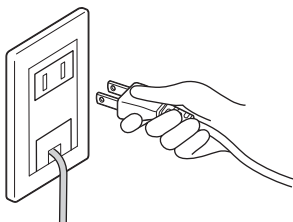
- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

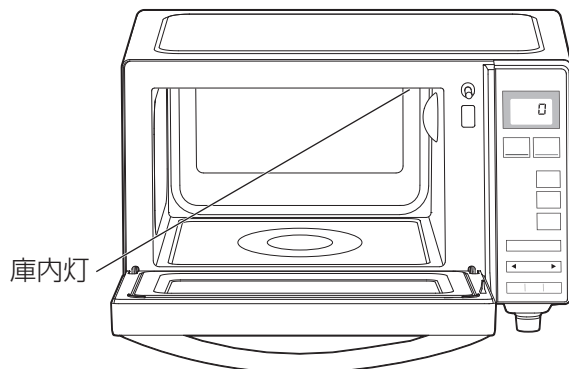
3 電源プラグをコンセントに差し込む



使いかた 基本

■ 電源を入れるには

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。

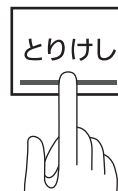


※扉を開けたまま何も操作をしないでいると、5分で表示部の照明が消灯し、さらに5分で庫内灯が消灯しますが、電源は切れません。(表示部には0が表示されたまま)

※扉を閉めて何も操作しないでいると、5分で電源が切れます。

■ 操作を取り消すには

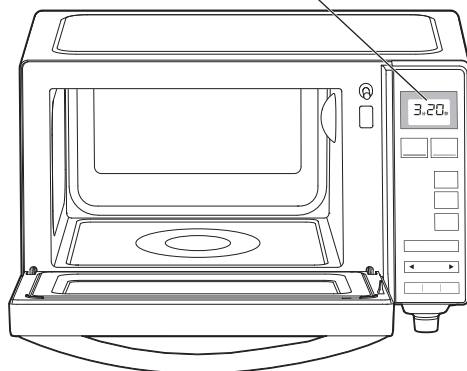
- ・操作中にとりけしボタンを押すと、操作は取り消されて最初の状態に戻ります。
- ・1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。



■ 加熱を一時停止するには

- ・加熱中に扉を開けると、加熱が一時停止します。

残り時間が表示されたままになります



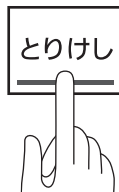
※扉を閉めてあたためスタートボタンを押すと加熱が再開します。



使いかた 基本 つづき

■加熱を停止するには

- ・加熱中・一時停止中にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。



■ブザーを切ったり、入れたりするには

- ・表示部に0が表示されている間にとりけしボタンを3秒間長押ししてください。長押しするたびにブザーの切／入が切り替わります。

※加熱終了時のお知らせ音（「ピー♪」が5回）も消えます。

0n → 0FF
ブザー：入 ブザー：切

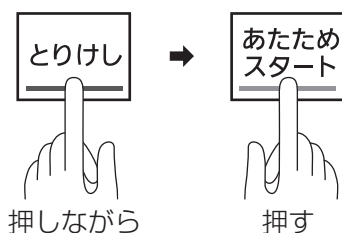
- ・3秒後に表示は元に戻ります。

■チャイルドロック

子供のいたずら事故を防ぐために、チャイルドロックをかけることができます。

チャイルドロックをかけるには

- ・とりけしボタンを押しながらあたためスタートボタンを押してください。



- ・表示部に次のように表示されます。

[]

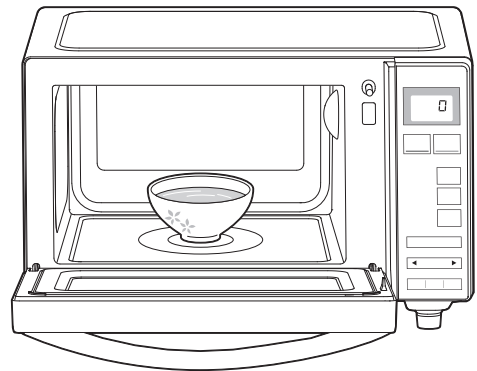
チャイルドロックを解除するには

- ・再度とりけしボタンを押しながらあたためスタートボタンを押すと、チャイルドロックは解除されます。

使いかた 簡単あため

1 食品を入れる

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて庫内に置き、扉を閉めます。
- ・食品はできるだけ中央に、重ならないように均等に配置してください。



※ごはんは、ラップをせず、固めのときは水を振りかけてください。

! 注意 ●飲みものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかき混ぜてください。

2 あたためスタートボタンを押す

- ・出力500W（電源周波数が60Hzの場合は、出力650W）で1分間の加熱をスタートします。



- ・表示部に残り時間が表示されます。

※操作を取り消すとき、加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

- ・加熱が終了すると、「ピー♪」が5回鳴ってお知らせします。

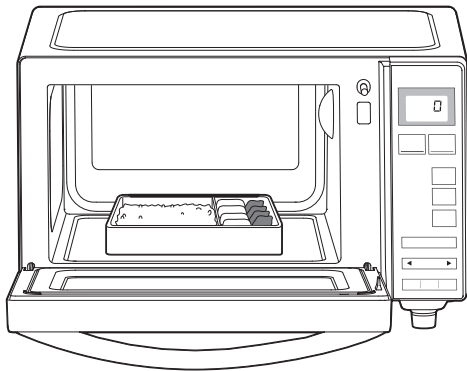
電源周波数はお住いの地域によって異なります。不明な場合は、お住いの地域の電力会社にお問い合わせください。

! 注意 ●加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください

使いかた 自動あたため

1 食品を入れる

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて庫内に置き、扉を閉めます。
- ・食品はできるだけ中央に、重ならないように均等に配置してください。



※ ごはんは、ラップをせず、固めのときは水を振りかけてください。



警告

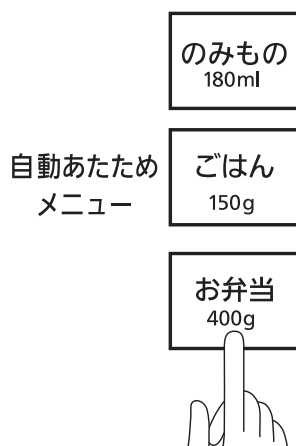
- 弁当は、調味料の容器・まぐさのゆで卵・アルミカップなどは、必ず取り出してから加熱してください。



注意

- 飲みものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかき混ぜてください。

2 自動あたためメニューボタンでメニューを選ぶ



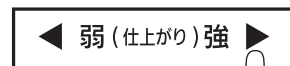
のみもの	コーヒーや牛乳などの飲みもの1カップ分（約180mL）を温めます。
ごはん	ごはん1杯分（約150g）を温めます。
お弁当	コンビニのお弁当など1人前（約400g）を温めます。

※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり 弱／強ボタンで調節する

- ・仕上がりの強弱が調節されます。熱めに仕上げたいときは**強**、ぬるめに仕上げたいときは**弱**に調節してください。



弱 ■ 強

仕上がり：弱

弱 ■■■■ 強

仕上がり：強

4 あたためスタートボタンを押す

- ・加熱が開始されます。



- ・表示部に残り時間が表示されます。

※ 操作を取り消すとき、加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

- ・加熱が終了すると、「ピー♪」が5回鳴ってお知らせします。



注意

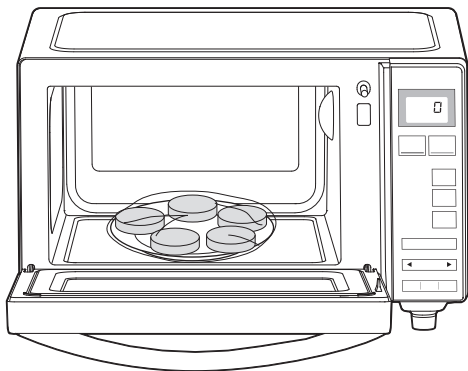
- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください

使いかた 手動加熱

- 量が多いときは、適量に分けて加熱してください。
- ごはんやカレーなどは、平たく均一に1人前ずつ冷凍しておくと、上手にあたためることができます。
- ラップの使いかたについては6ページ、16ページを参照してください。
- ゆで野菜を作るときは、16ページを参照してください。

1 食品を入れる

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて庫内に置き、扉を閉めます。
- ・食品はできるだけ中央に、重ならないように均等に配置してください。



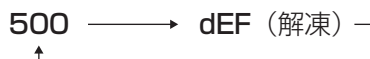
2 出力を選ぶ

- ・出力切換・解凍ボタンを押すたびに、次のように出力（W）が切り替わります。



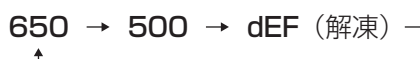
50Hzの電源周波数で使用している場合

- ・500（W）を選んでください。



60Hzの電源周波数で使用している場合

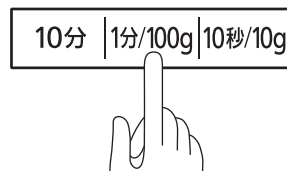
- ・500または650（W）を選んでください。



電源周波数はお住いの地域によって異なります。不明な場合は、お住いの地域の電力会社にお問い合わせください。

3 時間を設定する

- ・10分ボタンは10分単位、1分ボタンは1分単位、10秒ボタンは10秒単位で設定できます。
- ・最大15分まで設定できます。



4 あたためスタートボタンを押す

- ・加熱が開始されます。



- ・表示部に残り時間が表示されます。
- ※加熱を取り消すとき、加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。
- ・加熱が終了すると、「ピー ♪」が5回鳴ってお知らせします。



注意

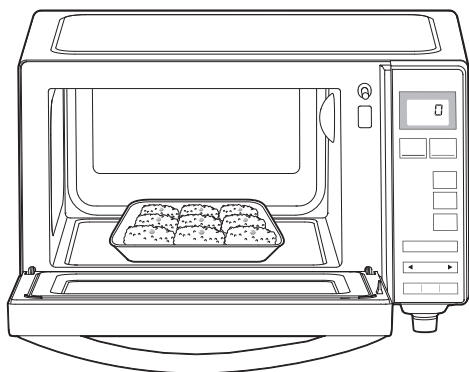
- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください

使いかた 解凍

- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 解凍しかかっている食材は仕上がりにむらがでて、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- 少量の食材（100g未満）は、煮えや変色のおそれがあるので解凍はできません。

1 食材を入れる

- ・ 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
- ・ 食材のラップは外し、発泡スチロールのトレーに載せたまま庫内に置き、扉を閉めます。
- ・ 発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
- ・ 食材はできるだけ中央に、重ならないように均等に配置してください。



注意

- 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがあるので、加熱のし過ぎに注意してください。

2 出力切換・解凍ボタンを押して解凍を選ぶ

- ・ 出力切換・解凍ボタンを押すたびに、次のように出力（W）が切り替わります。

出力切換・解凍



50Hzの電源周波数で使用している場合

500 → dEF（解凍）

60Hzの電源周波数で使用している場合

650 → 500 → dEF（解凍）

- ・ dEFを選んでください。
- ・ 解凍の▲が点灯します。

※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 解凍する重量を設定する

- ・ 100gボタンは100gのけたが、10gボタンは10gのけたが以下のように変わります。

100gボタン：1→2→……→5→1……

10gボタン：1→2→……→9→0→1……

- ・ 設定できるのは100g～500gです。設定するときは100gボタンを先に押してください。10gボタンを先に押しても受け付けません。

※ 500gが表示されているときは、10gボタンを押しても受け付けません。

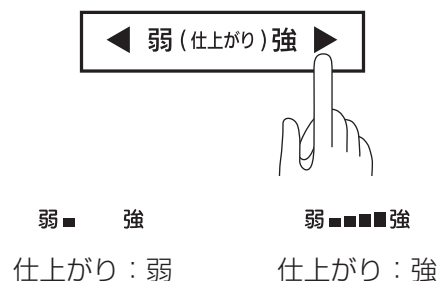
10分 | 1分/100g | 10秒/10g



使いかた 解凍 つづき

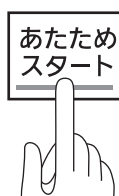
4 必要に応じて仕上がり 弱／強ボタンで調節する

- ・仕上りの強弱が調節されます。



5 あたためスタートボタンを押す

- ・解凍が開始されます。



- ・表示部に残り時間が表示されます。

※ 解凍を途中で止めるときは**とりけし**ボタンを押してください。

- ・解凍が終了すると、「ピー♪」が5回鳴ってお知らせします。

お手入れ

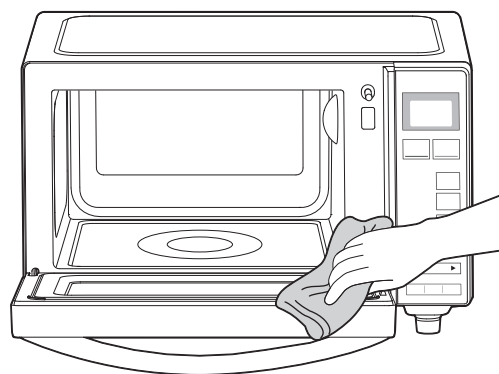


- お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
- 食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。
- 庫内壁面は汚れが付いたままにしないでください。火災の原因になります。

- 使用後は早めにお手入れしてください。
- みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

よくしぼったふきんで拭く

- ・汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



調理の目安

AC100V、60Hzの電源で**650W**で加熱する場合の目安です。

■あたため

食品・食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
ハンバーグ	1個 (80g)	—	1分	
ハンバーグ (冷凍)	1個 (80g)	する	1分30秒	加熱後、2～3分ラップをしたままむらす
焼きとり	6本 (150g)	—	1分	照りを出すため、先にたれを塗る
てんぷら・フライ	1人前 (150g)	—	1分	キッチンペーパーやてんぷら敷紙の上に、重ならないように並べる
 注意 ●いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。				
フライ (冷凍)	4個 (100g)	—	1分30秒	皿に並べる
焼きそば・スパゲッティ	1人前 (200g)	—	1分30秒	加熱後かき混ぜる また、ぱさついているときはサラダ油かバターを少しまぜる
ピラフ (冷凍)	1人前 (250g)	する	4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく
ごはん (冷凍)	1杯 (150g)	する	2分30秒	
焼きおにぎり (冷凍)	1個 (80g)	する	1分	
おにぎり	1個 (80g)	—	20秒	
まんじゅう	1個 (65g)	—	20秒	あんが熱くなるので、控えめに加熱する
肉まん・あんまん	1個 (110g)	する	40秒 (冷凍品は1分～1分30秒)	底の紙を取って、さっと水にくぐらせ、1個ずつゆったりとラップに包む
 注意 ●あんまは、先にあんが熱くなり、3分以上 (冷凍品は4分以上) 加熱すると発煙・発火のおそれがあります。				
しゅうまい (冷凍)	1袋 (230g)	する	3分	両面に水をふりかける
みそ汁	1杯 (150g)	する	1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる
煮物	1人前 (200g)	する	1分30秒	
カレー・シチュー	1人前 (200g)	する	1分30秒	加熱後かき混ぜる
丼物	1人前 (350g)	する	2分	
牛乳 (冷蔵)	1杯 (200mL)	—	1分30秒	加熱前と加熱後にかき混ぜる
お酒 (常温)	1本 (180mL)	—	1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる
茶わんむしのあたため	1個	—	40秒～1分	様子を見ながら加熱する
ロールパンのあたため	2個 (80g)	—	20秒	時間がたつと固くなるので、食べる直前に加熱する
今川焼き (冷凍)	1個 (90g)	する	1分30秒	
ミックスベジタブル (冷凍)	100g	する	1分30秒	
 注意 ●小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜がひたるくらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。(にんじん50g+水50mLで約2分)				
里いも (冷凍)	300g	—	10分	

※ レトルト食品などで500Wが推奨されている場合は、**500W**で加熱してください。

調理の目安 つづき

ラップの使いかた

ラップをするもの

- ・ 煮物、蒸し物、汁物、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・ 具の多いスープなど、はじけるおそれのあるもの

ラップをしないもの

- ・ ごはんもの、揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばし気味にしたい場合

- ・ ラップは容器をゆったりとおおい、食品・食材に添わせます。余裕がないと破れることがあります。
- ・ 油分の多い食品を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えることがあるので注意してください。

■ゆで野菜

食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
じゃがいも さつまいも	150g	する	3分	まるごと加熱するときは、庫内の中央を避けて置く
にんじん	200g	—	7分	用途に合わせて切り、容器に入れてひたるくらいの水を加える
だいこん	200g	する	5分	大きさをそろえる
キャベツ・白菜	200g	する	2分30秒	太い芯はあらかじめそいでおく
ほうれん草	200g	する	2分	葉と茎を交互に重ねてラップに包む
カリフラワー ブロッコリー	200g	する	2分30秒	小房に分け、あらかじめ食塩水につけておく
グリーンアスパラガス	200g	する	2分30秒	根元の固い皮を取り、あらかじめ軽く塩でもんでおく



警告

- 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。



注意

- 加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますので注意してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
電源が入らない (扉を開けても庫内灯が点灯しない)	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●電源ブレーカーが入っていない	●安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
加熱中に電源が切れる(ブレーカーが切れる)	●使用できる電気の量を超えている	●他の電気製品のスイッチを切る、別なブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	●扉がしっかり閉まっていない	●扉をしっかり閉めてください。
加熱中に停止する	●保護装置が働いた(連続使用したり、水分の少ない食材を加熱したときなど)	●保護装置が復帰するまで、約30分お待ちください。(→P5)
1分ごとに、「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴る	●調理後、食品を取り忘れている	●扉を開けると音は止まります。庫内の食品を取り出してから、扉を閉めてください。
加熱中に「ブーン」という音が大きくなったり小さくなったりする	●加熱をコントロールしている	●故障ではありません。そのまま使用してください。
加熱中に「カチッ」という音がる		
火花が出る	●アルミホイルを使用している	●アルミホイルは使用しないでください。(→P6)
	●金銀模様のある容器を使用している	●金銀模様のある容器は使用しないでください。(→P6)
	●庫内に食品かすなどが付着している	●庫内壁面をお手入れしてください。(→P14)
食品があたたまらない	●食品がアルミホイルなどでおおわれている	●食品をおおっているアルミホイルを外して、加熱してください。

故障かな？と思ったら つづき

加熱中、庫内に
水滴が付いたり
落ちたりする

●食品から出た水蒸気が庫内に
結露する

●ふきんで拭き取ってください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

電圧		AC 100V	
電源周波数		50Hz	60Hz
定格消費電力		950W	1,300W
高周波出力	強 ^{※1}	500W	650W
	弱 ^{※1}	—	500W
発振周波数		2,450MHz	
最大設定時間		15分	
外形寸法（電源コード含まず）		幅458×奥行354×高さ286 mm	
加熱室の有効寸法		幅295×奥行318×高さ180 mm	
電源コード長さ		1.5m	
庫内総容量 ^{※2}		約18L	
製品質量		12.3kg	
区分名 ^{※3}		A	
電子レンジ機能の年間消費電力量 ^{※4}		59.5kWh / 年	
年間待機時消費電力量 ^{※4}		0.0kWh / 年	
年間消費電力量 ^{※4}		59.5kWh / 年	

※1 高周波出力**650W** / **500W**は短時間高出力機能であり、持続時間は10分です。**650W** / **500W**の設定で10分連続で使用した後は、出力を350Wに下げて運転します。

※2 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※3 区分名は、家庭用品品質表示法および省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※4 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食材の量によって左右されます。

コンセントに電源プラグを接続して使用していない状態（待機時）の消費電力は0Wです。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の電子レンジの点検を！		
愛情点検 	こんな症状はありませんか	● ボタンを押しても、加熱しないときがある ● 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする ● 電源コードに破れがある ● 扉にガタや変形がある ● 触れるとピリピリ電気を感じる ● その他の異常や故障がある ご使用中止 故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

電子レンジ IMB-FV1801

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) 0800-888-2600

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールアドレスにご記入のうえ送信してください